

TTC 提案山行実施記録表

2015 年 11 月 15 日 HM

| | | | | |
|--|---|------|------|------|
| 山行名 | 上毛三山 赤城黒檜山から駒ヶ岳 [1,828m/群馬県] | | | |
| 実施日 | 2015 年 11 月 7 日(土) マイクロバス利用 | | | |
| 天候/参加人員 | 天候 : 曇り レベル : ★★ 参加 15 名 (男 6 名/女 9 名) | | | |
| パーティースタッフ | CL/計画 : SL : 会計 : 救護 : 写真 : ドライバ: スタッフ名削除 | | | |
| 参加メンバー | A 班 : (班長)、 B 班 : (班長) 参加者氏名削除 | | | |
| 費用 4,750 円/人 | ◆集金 : 71,250 円 (@4,750×15 人) ◆支出 : 71,048 円 [支出内訳] ・マイクロバス費用 : ¥29,268 ・ドライバー謝礼 : ¥18,000 ・高速料金 (圏央厚木～前橋往復) : @4,590×2=¥9,180 ・ガソリン代 : ¥8,000 [@100×(350+待機 50)/5] ・入浴料 : ¥6,600 (一般 510 円×10 人分+シニア 300 円×5 人分) ※残金の¥202 をカンパ金とする。 | | | |
| 所用時間 | | 歩行 | 休憩 | 行動 |
| | ガイドブック | 3:10 | — | — |
| | 計画 | 3:35 | 1:05 | 4:40 |
| | 実行 | 3:15 | 0:59 | 4:14 |
| 実行コースタイム記録 | | | | |
| 圏央道/関越道 0:06 ヨーカ堂前====嵐山 PA====前橋 IC====大洞ビクターセンター====駐車場-----黒檜山登山口 6:20 7:45~7:55 8:20 9:22~9:28 9:30~9:42 9:48 1:42(休 0:10) 0:48(休 0:02) 0:51 (温泉入浴) -----黒檜山頂上-----駒ヶ岳-----大洞=====覚満淵=====富士見温泉==== 11:30~12:12 (昼食) 13:00~13:05 13:56~14:09 14:11~14:34 15:02~16:13 前橋 IC====上里 SA====本厚木 16:35 17:04~17:22 19:28 | | | | |
| 概要・特記事項・反省事項等 | | | | |
| 前日までの好天がもう一日続いてほしいという願いはかなわず、朝からどんより曇り空の天気の中、6:20 に本厚木ヨーカ堂前を出発した。 土曜日でもあることから圏央道の渋滞が心配された。また、途中の「工事渋滞 5 km 20 分」という表示も気になったが (工事などやっていなかったのでは意味不明)、大したことはなく、順調に車を進めることができた。途中、嵐山 P でトイレ休憩を取り、前橋 IC を降りて赤城山に向かった。馬事公苑近くは牧草地が広がり、正面にそびえる赤城山とマッチしていた。マイクロバスは、標高 300 メートルから標高 1400 メートルまで上ったが、その途中の紅葉が見ごろだった。道の両側のモミジの赤と黄色のグラデーション、山麓全体を彩るオレンジ色などに見とれながら大洞ビクターセンターを目指した。紅葉はもうすでに終わっていると聞いていたので、思いがけず山麓の素晴らしい紅葉が見られたことは、とても得をした気分になった。また、赤城山総合案内所を過ぎると、白樺純林(初めて聞く言葉だった)が目の前に現れた。落葉しているため、幹や枝の白さが浮かび上がり、さらに細かい枝先は赤くぼやけて見えるという、何とも幻想的な風景にため息が出るほどだった。車内 | | | | |

では、「この素敵な景色を絵に描きたいね。」という声が聞かれた。

ようやく、大洞ビジターセンターに到着、トイレを済ませてから再度マイクロバスに乗り、2分で駐車場に着いた。そこで、準備体操をし、登山口まで林道を少し歩いた。登山口からは岩場の急登が続き、ゆっくりと登ることを心掛けた。少し登ると、開けた場所から大沼、赤城神社の鳥居や赤い建物を見ることができた。次は「アンテナ山の左に富士山」と書かれた場所で休憩を取ったが、残念ながら富士山が見えるどころかアンテナ山までかすんでいた。そのうち、赤城山主峰の黒檜山頂上辺りが霧で覆われはじめ、頂上に着いた頃には周りが全く見えなくなってしまった。晴れていれば、富士山をはじめ、武尊山、浅間山、男体山などが見えるはずだったので残念だった。以前、参加して景色が見られず、今回期待して参加したという K さんには2度目の残念な赤城山になってしまったようだ。

集合写真を撮り、昼食を済ませてから駒ヶ岳に向かった。駒ヶ岳への分岐を過ぎると、すぐ鳥居と石祠、「御黒檜大神」の石碑があった。一度下ってから駒ヶ岳の登りが始まるが、クマザサに覆われた斜面の中の登山道を見下ろすことができ、なかなかの景色だった。駒ヶ岳山頂は狭く、写真を撮ってからすぐに下山開始。途中、木や鉄の階段がたくさん設置され、よく整備されていると感じた。そのおかげで危険箇所もなく、1時間足らずで大洞に戻ることができた。トイレを済ませ、マイクロバスに乗ること2分で覚満淵入口に到着した。覚満淵は、「小尾瀬」と呼ばれる湿原が広がっており、霧のおかげでさらに幻想的な風景を醸し出していた。ゆっくり大回りで散策すれば2時間かかるところを、小さく周回し、30分足らずで戻ることができた。

あとは温泉入浴を残すのみ、15時過ぎから「塩分日本一」とうたわれている富士見温泉見晴らしの湯 ふれあい館でゆっくり過ごした。温泉の隣には「農産物直売所」があり、女性陣の中には温泉後にたくさんの野菜を買い込む姿が見られた。(何とんでも、安くて新鮮なのでつい手が伸びてしまった。)男性陣は、レストランでビール片手に楽しそうに歓談する様子が見られた。

16時過ぎに温泉を後にして帰りの途についた。高速道路は東松山辺りまでは順調に走ったが、あとは止まらないまでもだらだらとした渋滞が続いた。それでも、当初の予定より1時間ほど早く本厚木に着くことができた。大洞でトイレを済ませたことで、ビジターセンターに寄らずに済んだこと。また、計画書では富士見温泉まで1時間を計上していたが、30分ほどで到着することができたことなどがその理由である。

これで、天気が良ければ言うことがなかったのだが、かなわず本当に残念だった。また、歩き足りなかった人もいたと思われる。赤城山の辺りには、大沼、小沼、覚満淵など、ゆっくり探索すれば楽しめそうな場所がたくさんある。また違う季節にゆっくり訪れてみたいと思った。

スタッフをはじめ、皆様のご協力に感謝します。ありがとうございました。